

Reconstruction of Canals



(1) 小名木川筋深川區東大工町地先岸壁工事

(1) Konakigawa Bank Construction, Fukagawa, Tokyo.

復興局の運河計劃

工事進捗程度と設備

復興局 工務課長 安倍邦衛

東京の部

都市に於ける水運施設の良否が陸上交通と共に都市の發展と市民經濟上に至大なる關係を有することは固より論なし。

現に大正十年東京市の調査に係る市内貨物の集散量は輸出入總噸數約 12,000,000 噸、内水運によるもの30%餘を占め、而も之等貨物にして一旦各河川運河沿倉庫に收容さるゝもの更に移動するもの頗る多く、又陸運に依り汐留、隅田川、秋葉原、飯田町、及兩國等の諸驛に發着する貨物も經濟上の關係に於て出來得限り市内水路を利用するの狀態なり。

然るに鐵道省に於て市内貨物驛として越中島驛、小名木川驛、新設汐留、秋葉原、飯田町其他諸驛の擴張計畫あり。

一面將來益々出入貨物の激増を來すべきは

既往の統計に徴して明らかなるを以て、之等貨物集散の圓滑を期し、又復興に要する物資の配給を便にし、工業の發達を助成し、尚ほ市民日常品の小運送費を低減することは極めて

緊要の事なりとす。依て神田、日本橋、京橋方面、所謂商業地域内に於ては在來運河を改修し、且つ一部の新鑿を行ひ、尙比較的船行閑散なるものは埋築し、其の系統を正し、築地海軍大學跡の豫定中央市場並に隅田川との連絡を

謀り、又江東方面即ち工業地域にありては主要幹線を改修し、原料及生産品の輸送に便せんとす、而して運河改修數十一、新鑿一、埋立一個處にして、此の延長15,799 米、改修幅員33米乃至55米、同深度は東京市京橋區靈岸島水位基標零尺(約最干潮平均面)以下 1.8 米及 2.1 米とし總工費金 29,865,000 圓也とす、

寫眞説明

- 1. 位置 小名木川筋深川區東大工町地先切擴個所一部竣功の光景
- 2. 構造の大要 T型鐵筋コンクリート擁壁、天端高靈岸島水位基標零點位上 10尺  
基礎下端高同上位下 7尺
- 3. 改修幅員 55米
- 4. 深度零點位下 7尺